



2026年 2月 6日  
第146号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一  
編集 情宣 担当  
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## 横地申 第7号 首都圏本部におけるグループ会社と一体となった 団体交渉を行う！ ⑤ 業務執行体制の深度化に関する解明申し入れ

17. 臨時修繕作業について、JR本体が継続して行うものと、グループ会社に委託するものについて直外区分を示すこと。  
特に、無線機や防犯カメラ記録メディア読み出しの作業についての取り扱いを示すこと。  
(回答) 臨時修繕作業については業務委託することが前提となるが、詳細は現在検討中である。

組 合	会 社
大物吊り替えや低頻度作業についても委託するのか。	委託したい思いはあるが、大物は後になると考えている。まずは議論をしている。
台検庫に修繕車両を押し込む際の、棒連の切りつなぎ作業も委託するのか。	委託する考えである。
車内防犯カメラの交換や、列車無線機・防護無線機の取替も委託する考えなのか。	委託する考えである。
防犯カメラの記録メディア読み出しは委託するのか。	記録メディアの交換は委託できると考えている。読み出したデータを扱う業務はJRで行う。
対応件名の多い臨修作業は委託するイメージか。	過去数年の日報を分析してきた。件数が多いものは、ランク付けして契約していく考えである。
JR本体が行っている臨修キャラバンは継続していくのか。	鎌車セ本区→中原や、国府津→中原はあるかもしれないが、中原のJETSが他区へ出張するようなことは考えていない。

18. 臨時修繕の委託作業について、グループ会社社員への教育・訓練スケジュールと、必要な資格取得に向けた考え方を示すこと。  
(回答) 業務委託に向けて、引き続き必要な教育は行っていく考えである。なお、作業に必要な資格の取得については、受託会社において決定することとなる。

低頻度の大量作業などは、どのように教育訓練し、技術技能を維持していくのか。	グループ会社内で技術力についてマネジメントしてもらい、低下させないようにしていく。
クレーン、フォーク、玉掛け等の資格は取得させるのか。	グループ会社に依頼を行っている。

19. 矢向電留や弁天橋構内への出張修繕の直外区分について考え方を示すこと。  
(回答) 出張修繕対応については、当社社員が行うこととなる。

本線の留置線など、中原支所構内以外での作業をグループ会社が行うのか。	中原支所構内の外はJR本体が行うことが基本である。
武蔵中原駅での座面交換についてはグループ会社が行えるのか。	JR本体が行うことが基本と考える。
本線にて異音などで添乗するような場合はどうか。	JR本体が行うことが基本と考える。

20. メーカー改修作業の立会いや、部外者入所時の安全教育の対応を委託するのか示すこと。  
(回答) メーカー立会いや安全教育対応については、当社社員が行うこととなる。

回答の通りで良いか。	その通り。
------------	-------

21. 本施策に伴う委託先会社が、さらに第三者へ業務委託する可能性について考え方を示すこと。  
(回答) 第三者への業務委託については、受託会社で判断することとなる。

千葉のCTSでタイミーの例がある。可能性はあるのか。	行う可能性は低いと思われるが、委託先が第三者委託をする場合にはJRの承認を受ける必要がある。
JR本体として品質を把握できるということで良いか。	その通り。CTSのタイミーの件は、無許可で第三者委託していたことが問題である。

22. 本施策に伴う、JR本体およびグループ会社検修社員の詰所の変更があるのか示すこと。  
(回答) 施策実施後の詰所については現在検討中である。

詰所の変更はあるのか。	体制変更により人数規模が変わってくる。ワンフロア化した部分の仕切りの移動などにより、対応はできると考えている。
-------------	---

# 全22項目の解明交渉が終了しました。 職場での議論を継続して行います！